

平成29年における死亡災害発生状況 [速報]

平成29年1月1日～平成29年2月28日

北海道労働局

業種	平成29年		平成28年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	10 (1)	100.0	9 (2)	100.0	1	11.1	2	28.6
製造業	4 (0)	40.0	1 (0)	11.1	3	300.0	3	300.0
鉱業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
建設業	2 (0)	20.0	5 (1)	55.6	-3	-60.0	-2	-50.0
交通運輸事業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
陸上貨物運送事業	1 (1)	10.0	1 (1)	11.1	0	0.0	0	—
港湾運送業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
林業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
その他の事業	3 (0)	30.0	2 (0)	22.2	1	50.0	1	50.0

(注)1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

平成29年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

平成29年1月1日～平成29年2月28日

北海道労働局

業 種	平 成 29 年		平 成 28 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	3 (0)	100.0	2 (0)	100.0	1	50.0	1	50.0
小売業	1 (0)	33.3	0 (0)	0.0	1	—	1	—
医療保健業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
社会福祉施設	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
ビルメンテナンス業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
ゴルフ場の事業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
警備業	1 (0)	33.3	1 (0)	50.0	0	0.0	0	0.0
農業・畜産業	0 (0)	0.0	1 (0)	50.0	-1	-100.0	-1	-100.0
水産業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
その他	1 (0)	33.3	0 (0)	0.0	1	—	1	—

(注)1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

【資料4】

業種別労働災害発生状況 その1

平成29年1月1日～平成29年2月28日

北海道労働局

業種別	平成29年			平成28年			対前年		業種割合 (%)	平成28年速報値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	10	670	680	9	658	667	13	1.9	100.0	72	6,440	6,512
製造業	4	116	120	1	125	126	-6	-4.8	17.6	7	1,211	1,218
食料品		61	61		62	62	-1	-1.6	9.0	1	616	635
木材・家具		11	11		9	9	2	22.2	1.6		104	107
紙・印刷		2	2	1	2	3	-1	-33.3	0.3	2	26	29
窯業・土石		6	6		2	2	4	200.0	0.9		43	44
金属・機械	2	19	21		29	29	-8	-27.6	3.1	2	205	212
その他	2	17	19		21	21	-2	-9.5	2.8	2	182	191
鉱業												
鉱山											1	1
土石採取業										1	13	14
建設業	2	76	78	5	79	84	-6	-7.1	11.5	28	866	894
土木工事業	2	31	33	1	19	20	13	65.0	4.9	11	257	268
建築工事業		27	27	1	26	27			4.0	10	336	346
木造建築業		9	9		17	17	-8	-47.1	1.3	2	140	142
その他		9	9	3	17	20	-11	-55.0	1.3	5	133	138
交通運輸事業		47	47		37	37	10	27.0	6.9	1	260	261
陸上貨物運送事業	1	105	106	1	78	79	27	34.2	15.6	12	755	767
道路貨物運送	1	99	100	1	77	78	22	28.2	14.7	12	709	721
陸上貨物取扱		6	6		1	1	5	500.0	0.9		46	46
港湾運送業		1	1				1		0.1		9	9
林業		9	9		20	20	-11	-55.0	1.3	5	120	125
水産業		3	3		4	4	-1	-25.0	0.4	2	168	170
商業	1	104	105		106	106	-1	-0.9	15.4	4	938	942
清掃・と畜業		34	34		40	40	-6	-15.0	5.0		347	347
上記以外の事業	2	175	177	2	169	171	6	3.5	26.0	12	1,752	1,764

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

業種別労働災害発生状況 その2

平成29年1月1日～平成29年2月28日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	平成29年			平成28年			対前年		業種割合 (%)	平成28年速報値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		2	2	1	5	6	-4	-66.7	0.3	2	98	100
畜産業		18	18		23	23	-5	-21.7	2.6	3	247	250
金融・広告業		9	9		4	4	5	125.0	1.3		59	59
映画・演劇業											1	1
通信業		32	32		24	24	8	33.3	4.7		133	133
教育・研究業		9	9		2	2	7	350.0	1.3	1	52	53
保健・衛生業		46	46		47	47	-1	-2.1	6.8	1	549	550
接客・娯楽業		25	25		32	32	-7	-21.9	3.7	1	340	341
その他の事業	2	34	36	1	32	33	3	9.1	5.3	4	273	277
合計	2	175	177	2	169	171	6	3.5	26.0	12	1,752	1,764

「第三次産業」の内訳

業種別	平成29年			平成28年			対前年		業種割合 (%)	平成28年速報値		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	1	104	105		106	106	-1	-0.9	15.4	4	938	942
うち小売業	1	83	84		94	94	-10	-10.6	12.4	3	769	772
金融・広告業		9	9		4	4	5	125.0	1.3		59	59
映画・演劇業											1	1
通信業		32	32		24	24	8	33.3	4.7		133	133
教育・研究業		9	9		2	2	7	350.0	1.3	1	52	53
保健・衛生業		46	46		47	47	-1	-2.1	6.8	1	549	550
うち社会福祉施設		35	35		27	27	8	29.6	5.1	1	384	385
うち医療保健業		10	10		18	18	-8	-44.4	1.5		147	147
接客・娯楽業		25	25		32	32	-7	-21.9	3.7	1	340	341
うち飲食店		10	10		9	9	1	11.1	1.5		137	137
うち旅館業		9	9		13	13	-4	-30.8	1.3		83	83
うちゴルフ場										1	58	59
清掃・と畜業		34	34		40	40	-6	-15.0	5.0		347	347
その他の事業	2	34	36	1	32	33	3	9.1	5.3	4	273	277
うち警備業	1	15	16	1	14	15	1	6.7	2.4	1	77	78
合計	3	293	296	1	287	288	8	2.8	43.5	11	2,692	2,703

平成29年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

平成29年1月1日～平成29年2月28日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号										起因物番号	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99	
	業種	1 製	2 鉱	3 土	4 建	5 道	6 陸	7-2 港	8 林	9 水		10 其	起	原	動	材	設	金	一	車	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	人	用	其	仮	51	52	61	71	91	92
事故の型	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	計	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機
1 墜落・転落	15			25	33	1	1			38	113				3		1		1	30								26	1	40		1	4	6				
2 転倒	38			23	31	31			3	2	157	285							1	3	6						3	7		47		4	2	210		2		
3 激突	5			2	2	2	1		1		14	27								2	3						1	2	2	9		1	3	3		1		
4 飛来・落下	9			8	3		2		3	1	6	32			1	2	2											4		1		9	6	7				
5 崩壊・倒壊	1			3	1						4	9															1	1				2	2	3				
6 激突され	5			4	1	3					15	28			1	3				2		2					3	2		2			1	9		3		
7 はさまれ・巻き込まれ	27			8	9		2				16	62			2	1	8	2	9		18						8	1		5		3	3			2		
8 切れ・こすれ	9			2	1				1		15	28			4		2	6			1						11		2		2							
9 踏抜き																																						
10 おぼれ										1	1											1																
11 高温・低温の物との接触	3										3	6													1					1				4				
12 有害物等との接触	1										1	2																		1				1				
13 感電																																						
14 爆発																																						
15 破裂																																						
16 火災																																						
17 交通事故(道路)	4			2	10	7			1		23	47									13	33												1				
18 交通事故(その他)																																						
19 動作の反動・無理な動作	3			1	9	3	1				23	40								1	2	2					2		1	9		1	6	7		9		
90 その他																																						
99 分類不能																																						
合計	120			78	100	47	6	1	9	3	316	680		2	6	15	6	18		5	69	47			1		29	43	6	113	2	23	27	251		17		

平成29年 署別・業種別死傷災害発生状況

平成29年1月1日～平成29年2月28日

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				交 通 運 輸 事 業	陸上貨物運送事業			港 湾 運 送 業	林 業	水 産 業	商 業		社 会 福 祉 施 設	飲 食 店	清 掃 ・ と 蓄 業	左 記 以 外 の 事 業	対 前 年 比 増 減 率	
		計	食 料 品 製 造 業	木 材 ・ 家 具	紙 ・ 印 刷	窯 業 土 石 製 品	金 属 ・ 機 械	そ の 他 製 造 業	鉱 山	土 石 採 取 業	計	土 木 工 事 業	建 築 工 事 業	木 造 建 築 業		そ の 他 建 設 業	計	道 路 貨 物 運 送 業				陸 上 貨 物 取 扱 業	計						小 売 業
札幌中央	106	12	5			4	3			9	2	4	1	2	11	19	19			19	19		6	2	9	19	-3.8%		
	102	8	3			3	2			8	2	4	2		13	18	15	3		16	13	3	3	2	7	27			
札幌東	119	19	9			5	5			13	2	4	3	4	12	17	17			30	27	3	4	3	5	16	11.8%		
	133	21	16			3	2			13	4	5	2	2	12	31	30	1		20	14	6	6	1	5	24			
函館	49	13	9	1	1	2				7	2	3	1	1	4	4	4			5	4	1			2	12	12.2%		
	55	14	9	1		1	2	1		3		2		1	1	8	7	1		9	9		5	1	2	11			
小樽	23	5	4	1						3	2	1			2					4	4				2	7			
	23	9	6			1	2			3	1	2			1	2	2		1	2	2		1		2	2			
岩見沢	17	3	1			1	1			2	1		1			3	3			3	2	1			1	5	-29.4%		
	12	2	2							3	2	1			1	2	2			1	1		1		1	1			
旭川	41	5	1	1		2	1			7	3			4	1	5	4	1		7	6	1	1		4	9	2.4%		
	42	8	2	4		1	1			4	3	1			3	2	2			8	8		4		2	9			
帯広	57	18	11	1		6				5		3	2			5	5			10	9	1	2		3	9	-24.6%		
	43	7	6				1			7	3	2		2	4	9	9			4	3	1	2	1	2	6			
滝川	19	6		1		2	3			3		1	2		1	2	2			3	2	1				3	5.3%		
	20	2				1	1			6	3	2	1		4	4				4	3	1		1	2	1			
北見	44	8	7	1						11	2	5	4		1	6	6			6	4	2	1		1	7	-20.5%		
	35	6	4			1	1			8	6	2			2	2	2			10	5	5	1	1	1	4			
室蘭	21	3	1	1			1			2	1			1	1					6	5	1	2		2	5	47.6%		
	31	5				1	3	1		4	1	2	1		2	4	4			8	8			2	3	3			
釧路	50	15	6			5	4			5		3	2		2	6	6			2	3	3	4	1	4	7	6.0%		
	53	16	6	3		5	2			4	1	3			2	6	6			11	8	3	3		2	9			
名寄	16	3	1	1	1					2	1	1								3	3		1		1	6	25.0%		
	20	3	1	1			2			4	1	1	1	1	1	3	3			1	1	1	1		1	5			
留萌	6	1	1							3				3						1	1					1	16.7%		
	7									2	2				1	1	1			1	1				1	1			
稚内	8	1	1							2				2									2						
	8	2	1	1						2	2				1	2	2									1			
浦河	23									1		1								4	1	1	1			15	-43.5%		
	13	1					1									2	2				1					8			
苫小牧	55	13	4	1	1	2	2	3		7	3	1		3	1	12	12			4	3	1	3	2	2	10	21.8%		
	67	13	4	1	1	1	3	3		5	1	2		2	3	8	7	1		10	8	2	7		4	15			
倶知安	13	1	1							2	1	1			1					1	1			1	1	4	23.1%		
	16	3	2		1					2	1	1				2	2							1		5			
合計	667	126	62	9	3	2	29	21		84	20	27	17	20	37	79	78	1		20	4	106	94	12	27	9	40	135	1.9%
	680	120	61	11	2	6	21	19		78	33	27	9	9	47	106	100	6	1	9	3	105	84	21	35	10	34	132	
対前年比増減率	1.9%	-4.8%	-1.6%	22.2%	-33.3%	200.0%	-27.6%	-9.5%		-7.1%	65.0%		-47.1%	-55.0%	27.0%	34.2%	28.2%	500.0%		-55.0%	-25.0%	-0.9%	-10.6%	75.0%	29.6%	11.1%	-15.0%	-2.2%	

(注)本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

死亡労働災害の概要(前月把握分)

【資料7】

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	2	9時台	鉄鋼業	10人以上 29人	有害物等との接触	危険物、有害物等	被災者は、製鋼製造工程で発生するダストの無害化処理の作業中、フォークリフトでダストを処理場所に運搬してミキサーにセットした後、一緒に作業する同僚を呼びに行く予定であったが、呼びに来なかったため、不審に思った同僚が処理場所に行ってみたところ、何らかの薬液が入ったペール缶にもたれ掛かり意識を失っていた被災者を発見したものの。
29	2	10時台	小売業	100人以上 299人	はさまれ・巻き込	建設用等機械	被災者は、ガソリンスタンドの敷地内において、寄せ集められた雪を4トントラックへ積み込む作業をしていたトラクターショベルに轢かれたもの。トラクターショベルを後退させた際にガタンという音がしたため、運転者が運転席から降りて確認したところ、仰向けで地面に倒れているところを発見された。
29	2	10時台	土木工事業	30人以上 49人	はさまれ・巻き込	建設用等機械	被災者は、河川工事現場の根継工の床堀作業において、深さ91cmの掘削場所でドラグショベルの運転者へ合図を行っていたところ、ドラグショベルの運転者が被災者の合図に従い作業装置を操作しバケットを押し出した際に、バケットに被災者が押され、背後のコンクリート壁とバケットの間に挟まれたものの。
29	2	18時台	金属製品製造業	50人以上 99人	激突され	動力クレーン等	被災者は、資材置き場において天井クレーンを使用してトレーラーの荷台からH型鋼材(長さ約9m、重さ約2.7トン)を架台の上に設置した際、H型鋼材が倒れ隣のH型鋼材との間に挟まれたものの。